

## 2 まちの将来像

### 1 将来都市像

- 『豊かなみどりに包まれた、安全でやすらぎの感じられる住宅都市～にしとうきょう～』を将来都市像として、実現に向けたさまざまな取組みを進めます。

本市は、都心に近接しながらも「武蔵野」の面影が感じられるような「みどり」が比較的多く残されており、良好な住環境を形成しています。

今後、都市化がさらに進展すると予測されますが、安全で快適な、くらしやすいまちづくりを目指して、将来都市像を次のようにかかげ、その実現に向けたさまざまな取組みを市民のみなさんとの協働により進めます。

#### 将来都市像

**豊かなみどりに包まれた、  
安全でやすらぎの感じられる住宅都市**

～にしとうきょう～

## 2 まちづくりの目標

○「将来都市像」を実現するため、5つの目標をかかげます。

- ① みどり豊かなうるおいのあるまちの形成を目指します。
- ② 安全で安心して暮らせるまちの形成を目指します。
- ③ 活力のある産業が息づくまちの形成を目指します。
- ④ すべての人たちにとって住みやすいまちの形成を目指します。
- ⑤ 地域の歴史や文化を大切にしたいまちの形成を目指します。

### ① みどり豊かなうるおいのあるまちの形成を目指します。

基本理念に示した「みどりとともに暮らすまちづくり」を進めるためには、公園・緑地の整備・維持管理とともに石神井川などの水辺空間の再生に努め、みどりと水にあふれるいこいの場をつくっていくことが必要です。

また、道路など公共的な空間や個々の建物敷地内のみどりを守り増やしていくことも、市全体のみどりを豊かなものとしていくうえで不可欠です。

これらの取組みによって、みどりや水辺空間との身近なふれあいを可能とし、ゆとりとうるおいが実感できるまちの形成を目指します。

### ② 安全で安心して暮らせるまちの形成を目指します。

本市では、道路網が整わないうちに急速に都市化が進んだことから、生活道路への通過交通の流入などがみられ、安全な歩行空間の確保が非常に重要な課題となっています。

また、狭い道路が入り組み、住宅が建て込んだようなところでは、地震や火災などが発生した場合に延焼を招いたり、円滑な避難や救援活動に支障をきたすおそれがあります。河川の氾濫など、水害に対する心配もありますし、急傾斜地ではがけ崩れの心配もあります。

近年では空き巣などの犯罪被害は減少する傾向を示しているものの、依然として犯罪対策は重要な課題となっています。

そのため、交通安全、防災・防犯も含めた、各方面からの安全性を高めることが重要な課題となっており、市民が安心して暮らせるまちの形成を目指します。

### ③ 活力のある産業が息づくまちの形成を目指します。

本市では、商業、工業、農業などさまざまな産業活動が営まれています。それぞれが抱える課題解決のため、まちづくりの分野からもさまざまな取組みを行っていくことが期待されています。

駅周辺の商業活性化のためのまちづくりをはじめ、従来型の製造業を守りつつも、サービス業やソフト産業\*などの都市型産業\*への転換も支援するとともに、農業を継続していくことができるような土地利用計画など、活力のある産業が息づく西東京市となるようなまちづくりを目指します。

### ④ すべての人たちにとって住みやすいまちの形成を目指します。

少子高齢化の進行など、今後の人口構造の変化を見すえたまちづくりが求められています。

高齢者や障害者などすべての人が安心して生活できるように、道路や公園、駅などの公共空間のバリアフリー化\*や住環境の整備などを進め、人にやさしいまちづくりを目指します。

また、これからの社会を支えていく若者や子どもたちが、いつまでも安心して楽しく住み続けられるまちの形成を目指します。

### ⑤ 地域の歴史や文化を大切にしたまちの形成を目指します。

本市には「武蔵野」の面影を残す農地や雑木林\*などが比較的多く残っています。

縄文時代の下野谷遺跡や社寺などの歴史的資源、祭り・行事などの伝統文化、芸術、工芸などの地域固有の資源もみられます。

こうした地域の歴史的・文化的資源を大切に守り、それらを損なうことのないようなまちづくりを目指します。

\* ソフト産業：情報通信プログラムや文化作品など、知識・思考によるものをうみだす産業

\* 都市型産業：都市内に立地することが可能な、公害などのない産業

\* バリアフリー化：障壁を取り除き、誰もが利用しやすい都市環境をつくること

\* 雑木林：クヌギやコナラなどの広葉樹で構成された、人工的・意図的に作られた林（人工林）のことで、広義には里里周辺の入りやすい林の意を含み、里山と等しく用いられることもある

### 3 将来都市構造

- 西東京市の特色を活かした独自の「都市拠点」や「都市軸」を位置づけ、有機的なまちを形成することを目指します。

将来の市の骨格的な構造を明らかにするため、特定の機能集積がみられる「都市拠点」と、それらを結ぶネットワークの中心となる「都市軸」を設定します。

それぞれの「都市拠点」の特色にあわせてさらに機能の集積を図るとともに「都市軸」でそれらをつなぐことにより、地域相互の結びつきを強めていきます。

土地利用や交通網整備の方針など、具体的なまちづくりの施策は、これに基づいて展開していきます。

#### [都市拠点]

##### ① 行政サービス拠点

田無庁舎と保谷庁舎周辺は、行政、文化、スポーツ、保健福祉などを中心とする総合的な公共公益サービスの中心地として「行政サービス拠点」に位置づけます。

市民にとって利用のしやすい公共公益サービス施設の集積地となるように整備を進めます。

##### ② 商業中心拠点

田無駅、ひばりヶ丘駅周辺は、交通結節点としての立地条件を活かして、商業・業務施設などの集積する「商業中心拠点」に位置づけます。

土地の有効利用と都市基盤の整備を進め、既存のまちと調和しつつもにぎわいを創造するような拠点の形成を目指します。

##### ③ 生活拠点

保谷駅、東伏見駅及び西武柳沢駅周辺は「生活拠点」に位置づけます。

近隣居住者のための日用品供給など、生活に密着した商業施設の集積する拠点の形成を目指します。

##### ④ 文化拠点

新青梅街道近くのスカイタワー西東京周辺は、多摩六都科学館などの立地を活かして、文化・スポーツ・娯楽系の施設集積を誘導する「文化拠点」に位置づけます。

ここは市の境界付近に位置するため、隣接する東久留米市との協議のもと整備を検討します。

保谷こもれびホールやスポーツセンターの立地する保谷庁舎周辺も、これらの資源の活用により市民文化を醸成する「文化拠点」に位置づけます。

文化行政は全市的に推進しますが、そのシンボリックな空間として2つの拠点の機能充実に努めます。

## ⑤ 住環境創出拠点

URひばりが丘団地周辺は「住環境創出拠点」に位置づけます。

老朽化した団地の建替えにあわせて、居住環境を継承しつつ、住宅・公共公益施設・高齢者福祉施設などの複合的な機能をもつ住宅地として再生を図ります。

## ⑥ みどりの拠点

西東京いこいの森公園や谷戸せせらぎ公園、西原自然公園、都立東伏見公園、都立小金井公園、北町緑地保全地域\*、東大生態調和農学機構などの比較的大規模な公園・緑地や、ひばりが丘総合運動場や早稲田大学東伏見キャンパス総合グラウンド、三菱東京UFJ銀行健康保険組合武蔵野運動場などの運動場など、まとまりあるみどりを有する地区は「みどりの拠点」に位置づけ、みどりとのふれあいや健康づくりの中心地となるような拠点の形成を目指します。

## [都市軸]

### ① 東西都市軸

市内の東西方向の中心軸として、以下の路線を「東西都市軸」と位置づけます。

- 保谷駅周辺的生活拠点やひばりが丘駅周辺の商業中心拠点を結ぶ都市計画道路\*の西東京3・4・13号保谷秋津線
- 保谷庁舎周辺の行政サービス拠点・文化拠点やひばりが丘駅周辺の商業中心拠点を結ぶ西東京3・4・11号練馬東村山線
- 西武新宿線の北側に位置し、スカイタワー西東京周辺の文化拠点を通る西東京3・5・4号新青梅街道線（新青梅街道）
- 都立東伏見公園周辺のみどりの拠点や田無駅周辺の商業中心拠点、都立小金井公園周辺のみどりの拠点を結ぶ西東京3・3・3号新五日市街道線（青梅街道、新五日市街道）
- 新青梅街道と青梅街道をつなぐ西東京3・4・8号柳沢田無町線

バス路線を含む広域交通の処理能力の向上とともに、歩行空間の充実や街路樹などによる都市景観の向上に重点をおいて整備を進めます。

これにより、円滑な広域交通処理や、生活道路内への通過交通の流入を減少させることを目指します。

\* 緑地保全地域：「東京都における自然の保護と回復に関する条例」に基づいて都が指定する自然地・樹林などの保全のために建築制限等を行う地域

\* 都市計画道路：都市計画法に基づいて、都市施設として位置や幅員等が定められている道路（以降、西東京〇・〇・〇号〇〇線と表示）

## ② 南北都市軸

つぎの3つの路線は、市内の交通状況や道路整備の進捗状況をふまえて、都市間の広域交通及び市内南北方向の中心軸として「南北都市軸」と位置づけます。

- 田無庁舎周辺の行政サービス拠点、田無駅周辺の商業中心拠点、東大生態調和農学機構周辺のみどりの拠点やひばりが丘駅周辺の商業中心拠点を結ぶ西東京3・4・20号武蔵境保谷線
- 都立東伏見公園周辺のみどりの拠点、保谷庁舎周辺の行政サービス拠点・文化拠点や北町緑地保全地域周辺のみどりの拠点を結び、市外からの集客効果も期待される西東京3・2・6号調布保谷線
- スカイトワー西東京や多摩六都科学館周辺の文化拠点と都立小金井公園周辺のみどりの拠点を結ぶ西東京3・4・26号新小金井久留米線

東西都市軸と同じように、バス路線を含む広域交通の処理能力の向上とともに、歩行空間の充実や街路樹などによる都市景観の向上に重点をおいて整備を進めます。

これにより、円滑な広域交通処理や、生活道路内への通過交通の流入を減少させることを目指します。

【西東京都市計画道路一覧】

名称		計画幅員 (m)	名称		計画幅員 (m)
番号	路線名		番号	路線名	
西東京3・4・1	高井戸小平線	20	西東京3・3・14	新東京所沢線	18~25
西東京3・5・2	向台線	12	西東京3・4・15	保谷北荒屋敷線	16
西東京3・3・3	新五日市街道線	25~36	西東京3・4・16	東伏見保谷線	16
西東京3・5・4	新青梅街道線	15~18	西東京3・4・17	東伏見線	16
西東京3・4・5	東伏見千川線	16	西東京3・4・18	保谷町住吉線	16
西東京3・2・6	調布保谷線	20~36	西東京3・4・19	柳沢線	16
西東京3・4・7	田無花小金井線	16	西東京3・4・20	武蔵境保谷線	16~20.5
西東京3・4・8	柳沢田無町線	20	西東京3・4・21	ひばりが丘駅北口線	16
西東京3・4・9	保谷東村山線	16	西東京3・4・22	ひばりが丘駅南口線	16
西東京3・5・10	東町西原線	12	西東京3・4・23	田無駅北口線	16
西東京3・4・11	練馬東村山線	16	西東京3・4・24	田無駅南口線	16
西東京3・4・12	東町線	16	西東京3・4・25	田無久留米線	16~20.5
西東京3・4・13	保谷秋津線	16	西東京3・4・26	新小金井久留米線	16~20.5

## ③ 連携都市軸

2つの行政サービス拠点を結ぶ保谷新道（都道233号）などは「連携都市軸」と位置づけ、新たな産業・生活・文化・福祉などの機能の集積を目指します。

## ④ 水辺軸

都市計画河川に指定されている石神井川や市の南端部を流れる玉川上水・千川上水沿いは、市街地にうるおいを与える「水辺軸」として位置づけます。

みどりの拠点との連携により、みどりと水に親しめるいこいの空間の形成に努めます。

本市における各種拠点および都市軸などを示した将来都市構造図は以下に示すとおりです。



図1-1 将来都市構造図